

～カバープランツ植栽体験談～

体験その①	状況写真	活動組織名	植栽場所	【管理】	【組織からのメッセージ】
		神門地区農地と水と環境を守る会	農道法面	・月3回数名で見回りをし、草取りやシート直しを行っている。	数名の賛同者を得て半ば強引に始めました。植栽は皆さんで行っても、後の管理が必要になってきます。活動を進めていく上で、核になる人達を作っておいて進めていくことが大事だと思います。そして次を担ってくれる若手を育てていく事も必要です。
		種類	植栽方法	【苦勞している（苦勞した）ところ】	
		シバザクラ タイムロンギガウリス ヒメイワダレソウ マツバギク	防草シート有り	・風でシートが剥がれるので竹で抑え杭を作成し、それを数多く使ってシートを抑えた。鉄筋でもシート抑えをした。 ・土が硬く穴あけが大変だった。 ・植栽後1ヶ月は水やりが必要なのでタンクに水をくみ給水した。 ・モグラ対策が必要。	
	【植栽ポイント】	【良かったところ】			
		・除草剤を2回散布した。シートを張る前に路肩、法面の整地を行った。 ・植栽時に緩行性肥料と花の土を施した。	・農道の草刈りが楽になった。 ・植栽当日は保育園児から91才の方までの参加があり、日頃希薄になった地域の交流が出来た。 ・皆さんに地域の美化、環境に関心を持って貰えるようになった。		
体験その②	状況写真	活動組織名	植栽場所	【管理】	【組織からのメッセージ】
		論田環境保全組合	水路沿い花壇 農用地、農道法面	・女性会が中心となり、役員、農用地の地権者、自主的参加者で草取りを実施。 ・ヒメイワダレソウは2年目までは組織で管理、3年間からは所有者で管理する。2年目まではこまめに草取りをする。	一部の人の取組みではなく、組織全体で取り組む体制作りが大事だと思います。みんなで取り組んでいるという意識が生まれ、作業に参加したり、シートが剥がれた時などの情報が役員に連絡があったりして管理の面からも協力が得られます。
		種類	植栽方法	【苦勞している（苦勞した）ところ】	
		シバザクラ ヒメイワダレソウ	防草シート有り	・風が強くピン留めしたシートが剥がれた。アスファルト部分をコンクリート锚で留めたり、鉄筋で留め直したりした。 ・植栽後1ヶ月は水やりが大変でタンクに水をくみ給水した。 ・田の雑草の置き場がない。（ヒメイワダレソウの上に置くと日光を遮断する）	
	【植栽ポイント】	【良かったところ】			
		・ヒメイワダレソウは繁殖力があり農用地、農道法面へ、シバザクラは人目のつく水路沿い花壇へ植栽した。 ・ラウンドアップ2回散布、当分の間シートだけを張り、下の雑草を抑えてから植栽した。 ・シートの穴あけはバーナーで行い、植栽時に緩行性肥料を施した。	・ヒメイワダレソウが被覆したところは草刈りが不要になった。 ・イネ科の雑草は生えにくい。 ・人目につくところに植栽することにより、皆さんに関心を持って貰えた。		

～カバープランツ植栽体験談～

体験その③	状況写真	活動組織名	植栽場所	【管理】	【組織からのメッセージ】
		猪尾・大崎はつらつ保全組合	・排水路法面 ・水田畦畔（個人）	・排水路法面は共同作業により雑草除去を行ったが、雑草の勢力が強く、細やかな管理が必要。 ・繁茂すれば雑草の影響が少なく、草刈り機による管理が可能。	ヒメイワダレ草の過剰な繁茂が一部水路に悪影響（通水阻害）があり、場所によっては、種類としてセンチピートグラスが良かったのかとも感じています。 今年秋には除草、防草シート張り、ヒメイワダレソウの苗作りを行い、来年春に定植と、もう少しカバープランツの施工箇所を広げていく計画です。
		種類	植栽方法	【苦勞している（苦勞した）ところ】	
		ヒメイワダレソウ	露地植え	・ほ場整備直後の植栽であれば管理がかなり省略できるが、一旦雑草が繁茂した場所への植栽はこまめな雑草対策が必要である。 ・繁茂しすぎると水路（用水路）への進入が見られ流水の阻害が発生した。	
	【植栽ポイント】	【良かったところ】	・子供にも見えるように通学路沿いの法面に植栽し、環境への取り組みをアピール。 ・中山間研究センターから譲り受けたもの地域内で増殖させた。	・地域住民参加（子供を含む）で植栽および管理を実施し、環境に関する意識醸成ができた。	
体験その④	状況写真	活動組織名	植栽場所	【管理】	【組織からのメッセージ】
		吉田町大吉田環境保全組合	農用地畦畔	・地下茎がないため、当分は芝から上に出た雑草のみを2ヶ月に1回くらい刈り取り、雑草が伸びるようであれば適宜草刈りを行う。（順調に伸びてくれば芝丈の半分程度を刈り取る目安とする） ・また、芝を守るため刈り取った芝を放置せずできるだけ早くレーキ等で除去する。 ・肥料は、ランナーを伸ばさせるため、リン・カリ中心の施肥が有効。	交付金は、それぞれの地域で有効に使われていると思いますが、我々が取り組んでいる「雑草抑制芝の植栽」は色々な作業が機械化・省力化される中であって「草刈り・草寄せ」という重労働から解放されることへの大きな挑戦と思っています。 まだまだ小さな取組ですが、困難だからこそ、こうした事業を活用して力を合わせて中山間地域の農業や生活環境・景観を守り後世に田舎の良さを継承することが必要と考えます。 共にがんばりましょう！
		種類	植栽方法	【苦勞している（苦勞した）ところ】	
		センチピートグラス	露地植え	・計画提案時、構成員の中での考え方の相違があり、批判もあった。 ・試験植栽を成功させようとほとんど毎月1回の草刈りを行ったうえ、低刈りの習慣があり高刈りが難しかった。2年目には雑草に圧され気味になり補植を実施。 ・3年目にやっと定着してきたが、今後、この植栽を一斉に取り組むべきか部分的に広げていくか、また今後の事業の継続等も不透明な中、資金が大きな問題となる。	
	【植栽ポイント】	【良かったところ】	・一般畦畔では除草と植栽時期がポイント雑草を除去するため、4月～5月にラウンドアップを散布し、レーキや草削りで出来るだけきれいの除草。 ・活着までの灌水作業軽減のため梅雨直前期に植栽する。 ・横に伸びる茎を出やすくするためやや深植えする。	・試行錯誤の中、3年目にして定着し、今後はモデルとして年に1、2回程度の草刈りですむことを地区の皆さんに知って頂くことが楽しみである。	

～カバープランツ植栽体験談～

体験その⑤	状況写真	活動組織名	植栽場所	【管理】	【組織からのメッセージ】
		柳井地域農村環境向上協議会	農用地畦畔、水路、農道法面	・田の所有者が各自管理している。	雑草対策（除草剤散布）を行い、15cm間隔で植栽をしました。センチピードグラスが被覆するまでは、雑草抜き、灌水、施肥と作業は大変でしたが、被覆した後の法面は、雑草が生えてもそれを一緒に草刈り機で刈るので草刈りは楽になりました。
		種類	植栽方法	【苦勞している（苦勞した）ところ】	
		センチピードグラス	露地植え 畳表の廃材利用	・管理は所有者に任せているため、雑草の繁茂やセンチピードグラスの育ち具合に差が出てくる。 ・畳表を利用した場合、手ぐすが残っているため、草刈り機に引っかかりやすい。	
	【植栽ポイント】	【良かったところ】	・適宜芝の表面を五分刈りにして、芝に陽光を当てるように管理すると、芝の密度が高まる。 ・苗の植栽時に、緩行性肥料を施すとセンチピードグラスの生育が良くなる。役員がセンチピードグラスの植栽方法等のテキストを作成し講習した。		
体験その⑥	状況写真	活動組織名	植栽場所	【管理】	【組織からのメッセージ】
		魚切の郷さの	農用地畦畔（法面）	・吹き付け後、特に梅雨・秋雨前、芝が覆うまで施肥を行う。播種後、初期成育を促すための朝夕の灌水作業（灌水チューブを設置して作業を軽減を図った）	今回は、浜田市からの要請もあり、モデル的に別事業での取組となりました。 経費的には約350円/m ² で苗を買っての植栽よりは高く付きますが、手植え作業及び被覆が整うまでの管理にかかる労働時間等を考えると決して高くはないと感じています。 事前の除草作業を確実に行うことで、植栽面も短期間できれいな仕上がりとなるため、今まで除草作業に掛かっていた労力、経費共に目に見えて軽減しており、実施して良かったと感じています。 営農活動は機械の発達により重労働ではなくなっていますが、今も一番の労力、経費を必要とするのが草刈り作業です。 高齢化で維持管理ができずに農地が荒廃して行くことを考えると、早めにこのような取組で農用地を守っていくべきだと地域で話し合っています。
		種類	植栽方法	【苦勞している（苦勞した）ところ】	
		センチピードグラス (ティフ・アリア)	種子吹き付け 和紙と糊を溶かし種子を混ぜ吹き付ける工法 (業者委託) 愛媛県西条市 (有)だるま製紙所	・除草剤散布を計画どおり実施できなかった箇所は雑草が残り、被覆を助けるために雑草の草刈り及び刈草の作業頻繁に行わなければならなかった。 ・スギナの駆除に手間取ったこと。	
	【植栽ポイント】	【良かったところ】	※強力な雑草及びコケを確実に除去すること 吹き付け適期は6月中旬（梅雨時期） 前年秋（除草剤散布）（9～10月） （雑草の焼却）（11～3月） 春（除草剤散布）（40～50日前） 雑草の除去、焼却（30～35日前） 吹き付け直前の除草剤散布（1～3日前） ・年5～6回の除草作業が2～3回になり、作業時間の短縮と除草にかかる経費が少なくなったこと。 ・根がしっかり法面を保護しているため、モグラ等の進入が減ってきた。 ・急勾配の法面での草刈りは足場が滑るなど危険性が多かったが、芝では滑ることがなく安心して急な斜面での草刈り作業ができるようになった。		

～カバープランツ植栽体験談～

体験その⑦	状況写真	活動組織名	植栽場所	【管理】	【組織からのメッセージ】
		中谷みどりの会	農道沿い花壇、農道法面	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人部が年2、3回草取りをしている。 ・木製チップを草抑えに敷いている。 	植栽前の除草、植栽後の草取りが大事だと痛感しています。 防草シートを敷き、植栽の間隔を狭くし、早く被覆した方が良いと思います。 人目につく箇所に植栽することにより、地域の皆さんに楽しんでもらうと同時に、活動への関心を寄せてもらうことが出来ました。
		種類	植栽方法	【苦勞している（苦勞した）ところ】	
	防草シート上に土を被せて植栽	シバザクラ	防草シートを敷き、上に土を被せ植栽	<ul style="list-style-type: none"> ・当初露地植えをしていたが、雑草が繁茂したので、一度芝を剥がし防草シートを敷き、上に土を被せて植栽した。 ・防草シートの上に雑草が生えるので、土を被せない方が良かった。 	
	【植栽ポイント】	【良かったところ】	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽前の除草とその後の草取りが大事。 ・芝が広がったところで、一部を掘り、空いた場所に植栽している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農道沿い4箇所に植栽している。シバザクラで「中谷」の文字を作ったり、風景を作ったりして集落の皆さんに楽しんで貰った。 ・被覆したところは雑草が生えない。 	
体験その⑧	状況写真	活動組織名	植栽場所	【管理】	【組織からのメッセージ】
		金山環境保全協議会	水路脇農道法面	<ul style="list-style-type: none"> ・主に役員が草取り、水やりをしている。水やりは水路から「長い柄杓」で汲んでいる。 	カバープランツを特定の人だけで行うには限界があり、長期間継続することが難しいと思います。また、組織内の各団体が自主的に活動してもらうことも困難です。 除草、防草シート張りは役員で行い、植栽、管理は色々な人たち（団体）で行うなど、作業分担をした方が良いと思います。
		種類	植栽方法	【苦勞している（苦勞した）ところ】	
	水面に向けてヒメイワダレ草	センチピードグラス ヒメイワダレソウ ガザニア マツバボタン 他	露地植え（当初はシートを張る発想がなかった）	<ul style="list-style-type: none"> ・露地に植栽しているので、草取りが大変。今は役員のボランティアに頼っている。 ・最近では水路法面に防草シートを張った箇所があるが、水路の法面が深いためシートの上を歩いて降りるのが困難になりハシゴが必要になった。ただ、水路の深い法面は草刈り機がとどきにくいためやはり防草シートを張りたい。 ・風により防草シートが剥がれた箇所は、その都度シートを押さえ直している。 ・根まで枯らす除草剤を使用してもやはり「スギナ」が出てくる。 	
	【植栽ポイント】	【良かったところ】	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽前の除草（根まで枯らす）が肝心。 ・センチピードグラスの育苗培土は、野菜用の土の方が生育しやすかった。 ・ヒメイワダレソウは、比較的早く広がる。水面にまで着くとそれ以上は伸びない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・繁茂した場所は草刈りが楽になった。 ・花が咲く植物は、地域の皆さんにも喜ばれている。 	

～カバープランツ植栽体験談～

【残念！！】



【植栽】

農道法面に防草シートを張りガザニア等を植栽

【組織から一言】

草取りは老人クラブ、仲良し会（女性の会）で行っていましたが、今年の猛暑で水やり等の管理が行き届かず枯れてしまいました。



【植栽】

農道法面にワダレソウを露地植え

【組織から一言】

法面の土壌が赤土でワダレソウの生育が悪く、3ヶ月後に雑草取りと施肥を行いました、雑草の生育が勝ってしまいました。



【植栽】

水路法面に植栽したあじさい周りにセンチードグラスを露地植え

【組織から一言】

除草剤散布をせず、草刈り後にセンチードグラスを植えました。その後の管理を一人で行っていたので雑草の生育が勝ってしまい雑草との見分けがつかなくなりました。